



目次

第8回定例会について 2~4

ズバリ!村政を質す 5~11

常任委員会審議報告 12

議会活動報告 13~14

議会だより

12月議会



正・副議長室にて

新年のご挨拶

北塩原村議会議長

小椋 真



新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は平成が終わり、令和の新たな時代が始まりましたが、台風19号など各地で様々な災害が発生した年でもありました。また、近隣諸国との経済問題や消費税増税などがあり、内外共に様々な課題があり今後解決に導くことを期待しております。

村議会としましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、むらづくりの主役は村民の皆さんであることを第二に、住んで良かったと思えるむらづくりの実現に向けて、努力して参りたいと考えております。

村民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後もより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。



第8回定例会

あらまし

会議に付した議案と審議結果

議案番号	件名	議決日	結果
議案第67号	会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例	元.12.11	原案可決
議案第68号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
議案第69号	北塩原村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第70号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第71号	令和元年度北塩原村一般会計補正予算(第4号)	〃	〃
議案第72号	令和元年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第73号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	同意
議案第74号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃
議案第75号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	原案可決
議案第76号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第77号	令和元年度北塩原村一般会計補正予算(第5号)	〃	〃

一般会計補正予算（第4号）の主な補正額 (単位：千円)

事業名	当初予算額	補正額	補正後の額
社会福祉施設等 空調設備設置工事事業	24,824	▲4,906	19,918
除雪対策事業	120,055	▲13,250	106,805

令和元年第8回定例会が12月6日から11日まで6日間の会期で行われた。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由、また各議案の説明が行われた。4日目から5日目まで合計6名の議員の一般質問が行われ、村政を質した。5日目の午後から各常任委員会に分かれ集中的に審議を行い、6日目に追加議案も含め合計11の議案の質疑・討論・採決が行われ、原案可決9件、同意2件となつた。

会計年度任用職員に関する条例を可決！

会計年度任用職員に関する条例 説明

2020年4月より地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が施行されるのに伴い、関係条例が提案され可決しました。

この条例は、地方公共団体における行政需要の多様化に対応し、公務の能率的かつ適正な運営を推進するため地方公務員の臨時・非常勤職員について、任用等に関する要件の厳格化を図るとともに、移行について規定を整備するものです。

議案第67号

会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例

【問】池田 瞳宏 議員

膨大な業務量に対応するために増員といふことだと認識しているが、職員の人たちの業務の効率化に取り組んでいるのか。また、各課で職員の業務の進捗や、処理能力の把握などが適切に行われたのか伺う。

【答】（総務企画課長）

各課の業務が増える時期は異なりますが、通年を通して効率化を図っております。また、各課で週一回打ち合わせを行い業務量の把握・調整を行っています。

議案第71号

一般会計補正予算質疑

除雪車購入費について

【問】蟹巻 尚武 議員

除雪対策費の除雪車購入費用について、減額が1325万円とあるが、あまりに大きすぎるのではないか。

【答】（建設課長）

村で作成した概算設計書をもとに適正に入札を行った結果の金額です。

【問】若林 幸子 議員

初めて除雪車を買うわけでもないのに、なぜこんな差額ができるのか。

【答】（建設課長）

国庫補助事業を使うため、その仕様・計算にのつとり算出した額で、入札した結果、落札額が大きく下回ったためこのような結果となりました。

ミニローダーの効率的な運用を!!

【問】池田 瞳宏 議員

ミニローダーは、なぜ限定的な使用のためだけに買ったのか。高齢者のための除雪や他の除雪車として使用はしないのか。

【答】（商工観光課長）

休暇村サービスは事業再編に伴い継続してお願いできなくなつた事から公募した結果、エコツーリズム協会へお願いすることとなりました。

を持っていたため除雪できましたが、エコツーリズム協会では機材が無いため購入し、この施設周辺の除雪のために配備します。

【問】佐藤 善博 議員

国土交通省仕様の車両となり、それを元に見積を作成しましたが、このような額となりました。

前の契約先であつた休暇村サービスは機材



【問】若林 幸子 議員

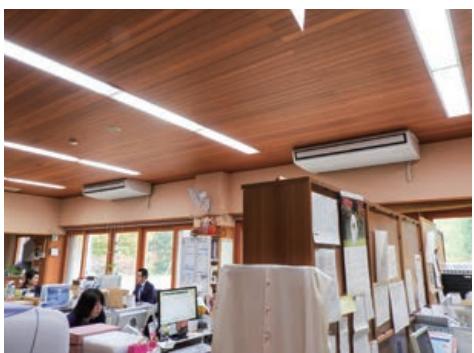
施設ごとで除雪設備に差があるのは納得ができない。配置場所を変え効率的な運用を図るべきではないか。

【答】（商工観光課長）

他の除雪のためにも、合同庁舎か裏磐梯除雪ステーションに変更します。

【答】（住民課長）

社会福祉施設費でも約500万円の減額の補正が出ているが、なぜこんなに差があるのか。



デイサービスセンターの冷房設備について

【問】若林 幸子 議員

観光客に来ていただきたいという思いはあります。が、今のところ追加の予定はありません。

【答】（商工観光課長）

合宿利用者支援事業の補助金について、これから冬季間に、さらには誘客する意思があるのならもつと予算を確保するべきではないのか。

【問】蟹巻 尚武 議員

合宿利用者支援事業について

議案第73・74号

固定資産評価審査委員会 委員の選任について

○委員 小椋 敏廣 氏（早稲沢）

樟山 裕康 氏（北山）

○審議結果 同意

固定資産評価
審査委員会とは

市町村に置かれる行政委員会で、法律の定めにより、独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定等を行う。
委員は村長が選任し、議会の同意を得る。任期は3年である。

議会傍聴にお越しください！



次回定例会は 3月6日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。
村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

お問い合わせは議会事務局まで。

T E L : (23) 3263 F A X : (25) 7358
HP アドレス : <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>



ズバリ!! 村政を質す!!

6人の議員が一般質問

一般質問とは?

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたりて、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

1 伊藤 敏英 議員	6
○人口減少対策について	
○防災対策について	
2 佐藤 善博 議員	7
○中学生台湾派遣事業について	
○魅力あふれる観光と農業の村づくりについて	
3 若林 幸子 議員	8
○公共交通関係について	
○情報網整備について	
4 伊関 明子 議員	9
○桧原・裏磐梯での期日前投票について	
○防災・減災対策について	
○クマ・イノシシ・サルの被害と危険について	
○子供の教育・スポーツに使う予算等について	
5 小椋 元 議員	10
○健康増進施設「ラビスパ裏磐梯」について	
○遊歩道、登山道の整備計画について	
6 遠藤 祐一 議員	11
○これからの農業後継者及び担い手不足について	
○村長の任期満了に伴い政治姿勢について	

Q. 村指定の避難所は、避難所としてきちんと機能するのか！

A. 公共施設の適正な管理という事も含めて確認していく



伊藤 敏英

人口減少対策について

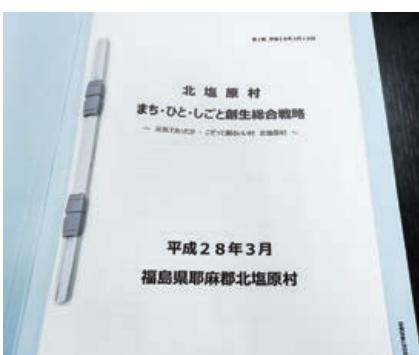
ということをご理解いただきたいと思います。

ました。三つのことが達成できれば、人口減少に歯止めがかかると理解していました。

問 小椋村長就任当初は3406人いた人口が、今年の11月1日現在では2710人と、11年で696人も減らしておるわけだが、村はどう理解しているか。

答 (総務企画課長)

人口減少に歯止めをかけたいという目標を掲げておましたが、歯止めをかけられなかつた結果だと認識しております。



問 村の第一期の総合戦略は人口減少対策に重点を置いていたと思うが、この計画をやりければ減少に歯止めをかけられるという思いはあつたのか。

答 (総務企画課長)

県でも人口ビジョンの下方修正をしたわけだが、このままでは2000人も下回り、単独の村として生き残つていけるのか村長の考えを伺う。

答 (村長)

2000人を割らないよう色々な施策を講じ努力してまいりますが、下方修正もありうる

私も創生会議の委員であつたが、検証作業をやつた記憶がないが

問 創生会議の方々に検証をしていただく機会を作ることが出来なかつた状況です。

答 (総務企画課長)

裏磐梯で防災講演会が実施され、緊急時の対応を考える人が多くなってきたと思うが、今後、北山や大塙などでも開催し、防災意識を高めるべきではないか。

防災対策について

他の自治体では、民間の宿泊施設や店舗と物資の協定を結んでいるところがあるが、村では協定を結んでいます。そこはあるか。

答 (住民課長)

来年度以降には、北山地区・大塙地区で開催していきながら地域の防災力を高めていきたいと考えています。



様々な方々のご意見を聞いて計画し、第三に実施して評価する。そして実行につなげていき、この管理を行う。この三つが大きな特徴だと、ふうに思つております。

答 (住民課長)

2000人を割らないよう色々な施策を講じ努力してまいりますが、下方修正もありうる

佐藤 善博



Q. 村内で村の農作物が流通するように もっと取り組むべきである！

A. 農業と観光を合わせながら 強化していきたい

中学生台湾派遣 事業について

答（総務企画課長）
担当が学校へ出向き、
スライド等を使い理解
を深めてもらうと共に、
事業へ参加してもらえ
ます。費用は一人3万
円となっています。

問 各学校に担当者など
が出向いて生徒に説明
などを行ったりしてい
ているのはどのように
しているか。

答（総務企画課長）
地の中学生と交流を通
じて国際的な感覚を養
い、視野を広げてもらう
事を目的としています。

答（教育長）
修学旅行については、
教育課程の一環であり
校長が決定を行ってい
ますので村の決定に委
ねることは難しいかと
考えております。

問 中学生台湾派遣事業
について、なぜ派遣す
るのか、また、何を学
んでほしいと考えてい
るのか。

答（総務企画課長）
相互に行き来する状
況になりましたら、経費
負担のルールを話し合
うということが必要に
なるかと思います。現
在、相互という形まで
取れておりませんので、
その事業ごとに判断し
ている状況です。

問 今後、台湾からの受
入れについて村として
の考え方や先方との取り
決めなど計画を伺う。

答（農林課長）
地産地消の実績で
が、農産物直売所、道
の駅裏磐梯の平成30

問 村内の生産物で、村
内で消費されているも
のはどれぐらいあるの
か。

答（農林課長）
裏磐梯ブランドとは
美しい自然景観、豊か
な農地、歴史文化など
全てを総称したもので、
農業と観光の連携を図
りながら、村内の施設
で消費を図っていくと
いう考えです。

答（村長）
他のテナントとの調
整をしながら今後検討
します。

問 農家70戸で売上額は
4100万円程度ですが、農
家と観光施設の実績は、つかんでおり
ません。



Q. 早々に公共交通機関検討委員会を開き村民の声を聞くべきである！

A. 地域公共交通会議へ移行し、各所の代表を集め意見を聞きたい



若林 幸子

公共交通関係について

情報網整備について

問 今年度、地域公共交通検討委員会が開催されていなかなぜか伺う。

答（住民課長）

検討委員会は法的根拠をもつ地域公共交通会議に拡充するため準備を進め、1月に開催する予定です。

問 ダイヤ改正に保護者等の意見を取り入れて、いくべきと考えるが、村の考え方を伺う。

答（住民課長）

ダイヤ改正はJR磐越西線の乗り継ぎを考慮しながら、改正案を元に村内の小中学校や喜多方市内の高校の始業時間等に影響のないように調整を行っています。

問 ダイヤ改正については、その都度、学校や関係者と確認を取りながら改正を行つております。

答（住民課長）

もつと村民の立場に立つて考えてもらいたい。バスが不便で免許返納もできない一人暮らしのお年寄りもいる。早稲沢からお医者さんに行っている方や、また、小野川の方も不便を考えを伺う。

問 デマンドバスについて実施する考えはあるか。

答（住民課長）

導入を考えると様々な検討課題があるので、地域公共交通会議での議論を踏まえて検討していくと想っています。

問 村内におけるWi-Fiの設置状況について伺う。また今後の整備計画についても伺う。

答（総務企画課長）

新たに設置される委員会で村全体の公共交通網をどう形成していくかを議論していく形となります。



問 ミュニティーバスについて、緊急連絡網は整備されているか。

答（住民課長）

路線バス運行業者、コミュニティーバスのドライバーと連絡を取れる体制を構築しております。

問 公共施設について、Wi-Fiを導入し整備しました。各事業所や個人の利用については個々で導入をしていただきたいと考えております。

答（村長）

村長が3期目の選挙の際に選挙公約で家庭に整備するという内容を聞いた村民がいたようであるがこれは事実か。

答（総務企画課長）

村内16の施設にWi-Fi環境を整備したところであります。一般家庭への整備は考えておりません。

伊
関
明
子



Q. 運動会や文化祭の地域負担をなくすべきである！

A. 少しでも負担いただきながら運営していきたい

桜原・裏磐梯での期日前投票について

防災・減災対策について

携が必要であり、地域の防災力を高める必要があります。

問 桜原、裏磐梯での期日前投票について、11月10日の県議会議員選挙の結果と今後の考えを伺う。

答（総務企画課長）

結果は、11月4日と5日の2日間開設し、合計85名の方が投票を行いました。今後の開設については、投票事務の確実な執行、投票しやすい環境など考慮し、選挙ごとに選挙管理委員会で決定されます。

問 観光シーズンなど重なる場合、投票に行けない人が出てくると思われる。期日前投票については、今後裏磐梯だけではなく大塩でも実施すべきだと思うが考え方を伺う。

答（総務企画課長）

検証するには時期尚早であるということで、今後も継続する方向で、選挙ごとに判断していく事になるかと思います。

消防団の装備について

問 消防団の予算要望については、消防団の中で優先順位を付けながら、緊急性の高いものを要望いただいています。

答（住民課長）

その後の取り組みとして、防災講演会を開催しました。そこで意見などを踏まえマニュアルを作成していく。役割分担については、民間、地域住民など相互に理解を深めながら丁寧に調整をして行きます。

問 防災講演会・ワークショップを開催し、住民の意見を聞いたところかと思うが、どのような課題があると考えるか。

答（住民課長）

地域の高齢者や障害がある方の避難に対しても、どのように地域で守つていかかという事だと思います。様々な人の連

子供の教育・スポーツに使う予算等について

問 駅伝の練習や大会に参加するための父兄の送迎の負担が大きいようである。村でマイクロバスなどを出すなど送迎を実施する考えはあるか。

答（公民館長）

大会参加には村のマイクロバス等で送迎しております。練習の参加には、ご父兄で送迎していただき、都合が合わない場合には指導スタッフ等が迎する形で実施し、今後もあまり負担のないようにしてまいります。

問 有害鳥獣について、子供や村民への講習を実施する予定はあるか伺う。

答（教育課長）

裏磐梯小学校では大学の先生をお招きし、クマに関する講演会を実施いたしました。新年度には、村で有害鳥獣対策の専門職員を採用する計画などで、講習会などを学校とともに計画してまいりたいと思います。



Q. 赤字を続けるラビスパ裏磐梯を 今後も続けるのか！

A. 村民の健康増進や雇用確保のため 継続していく



小椋 元

**健康増進施設
「ラビスパ裏磐梯」について**

問 ラビスパ裏磐梯が出来て23年が経つてあるのか伺う。

答（総務企画課長） 平成16年から30年までで2回、単体で黒字になっています。

このラビスパ裏磐梯の掲げた目標というの三つあり、それぞれ達成していると考えています。村民利用率については、5%から7%の村民が利用しています。



問 ラビスパ裏磐梯が出来て23年が経つてあるのか伺う。

答（総務企画課長） 建設に28億円かけたといふが、23年たつて改善策もまとまにく続けていくのは村民の負担になるばかりではないか。どれぐらいの村民が利用しているのか。

問 ラビスパ裏磐梯が出来て23年が経つてあるのか伺う。

答（村長） 入館客が多く村民の健康増進に役立つているものと考えます。また、裏磐梯では学校のプールが十分に使えないため、そのためにも大切な施設だとうふうに思っています。

問 利用者が少ないうえこれから修理費が益々かかるべからず、このままでは破綻してしまうのではないか。

問 早稲沢から西大巔に土地は国有地内で、村で管理しておりません。

答（商工観光課長） このラビスパ裏磐梯の建設にかかる費用は、主に民間企業による寄付金で賄われています。この資金は、地域社会の活性化や雇用創出のための各種事業に充てられています。



問 細野の遊歩道は、まだ工事しているようだが、来年の春から通れるようになる計画はあるのか。

答（商工観光課長） 野鳥の森探勝路においては、県で工事を発注しております。今年度発注した80メートルの工事は終わりますが、その後の工事もあり、まだ通行止めの解除にならないと思います。

問 細野の遊歩道は、まだ工事しているようだが、来年の春から通れるようになる計画はあるのか。

答（商工観光課長） 地元の方や関係機関の皆さまのご意見を伺いながら、引き続き検討しております。

登山道・遊歩道の整備計画について

問 早稲沢浜から金山の探勝路は今後どうするのか。

答（商工観光課長） 地元の方や関係機関の皆さまのご意見を伺いながら、引き続き検討しております。

遠藤
祐一



Q. 農業公社設立の進捗は

A. 次年度中に設置を目指している

これからの農業後継者及び担い手不足について

問 農業従事者において、これからますます高齢化により離農傾向が予想される中、当局としてどのような考え方を持つているか伺う。

答（農林課長）

農業従事者は減少傾向、高齢化が進行しており、新たに担い手を確保することが喫緊の課題です。村では國の事業などを活用し、新規就農者支援対策を継続して取り組んでいます。

問 ここ5年から10年後を見据えたときに、農業を受託できる方、そして担い手不足が発生する可能性が大きい。そのための施策をもう少し具体的に伺う。

答（農林課長）

担当の農家で、受委託というのは、厳しい状況が訪れてくると思われ、その扱い手の機能を持つた農業

公社の設立に向けて進めております。

問 農業公社が設置され、自立していくためには、10年、20年かかると思われるが、県内か近隣市町村において、自立できているよう

は当村から発掘していくのか、それとも他村から呼ぶのか考えを伺う。

答（農林課長）

基本は村内の農家の息子さんなどが理想ですが、農地を守る観点からも、他村からの農作業する方も入ってきており、村外からの方へ支援も今後も、継続していきたいと考えております。

問 農業従事者が集まり会社を興したくなるようなそんない魅力のある環境づくりが必要と考えるが伺う。

答（農林課長）

魅力ある農業については、新規就農者にもできるだけバックアップできる体制を整えていき、収入を得るために、農産物のPRなど継続的にやっていきたいと考えております。

村長の任期満了に伴い政治姿勢について

問 農業公社が設置され、3期12年における政治施策の実績のもと、9月任期満了に伴い、再出馬を望むところであるが、その意志を伺う。

答（農林課長）

数は把握できていませんが、東京農大より推薦のあつた3社で研修を行つてきました。近隣では、昭和村の公社へ研修に行き、また、湯川村では、公社が設立され、下郷町でも今後設立されると聞いております。

答（村長）

9月の任期満了による再選の出馬につきましては、今まで私を支えていただいておりました方々や、後援会の皆さまのご意見やご教示を拝聴しながら、時期をみて判断したい考えであります。

答（村長）

決断の時期は3月になるのか、6月になるのか伺う。

答（村長）

後援会の皆さんとか、支持者の皆さんとお話ししながら、なればならない部分がありますが、早ければ3月、それ以後であれば6月ころになると思います。

常任委員会の審議内容について

北塩原村議会では定例会の会期中に2つの常任委員会「総務文教常任委員会」「経済厚生常任委員会」に分かれ、本会議で付託された議案・請願などを審査し、村政の諸問題について協議を行います。

常任委員会は、議案等を詳しく審査するために設置されています。条例により議員は必ず一つの委員会に所属します。北塩原村議会では各定例会の会期中に常任委員会を開催します。

総務文教常任委員会 委員長 若林 幸子

○審議された内容（一部抜粋）

- ・会計年度任用職員制度について

Q 年次有給休暇の取得条件は？

A 6ヶ月以上勤務の方になります。忌引や病気の場合はその都度取得できます。

- ・一般会計補正予算について

Q 予算減額の金額があまりにも大きすぎるのでないか。

A 理由についてはそれぞれあるかと思いますので確認します。

- ・一般質問からの内容について

Q 昨日の一般質問で、振興計画のコンサル料が無料と回答があったが事実か。

A 振興計画のコンサルタントは無料です。まち・ひと・しごと創生総合戦略事業については有料です。

- ・情報機器の処分について

Q 世間ではハードディスクの処分で問題となっているが当村では大丈夫か。

A 会津の他の自治体も契約している会社に依頼していますが問題ないかと思います。

経済厚生常任委員会 委員長 佐藤 善博

○付託案件についての審議

『看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情』

○委員会での意見

- ・安定した雇用環境が必要かと思われる

- ・企業の雇用に関わるので判断は難しい

○委員会での決定

『趣旨採択』

○審議された主な内容（一部抜粋）

- ・印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

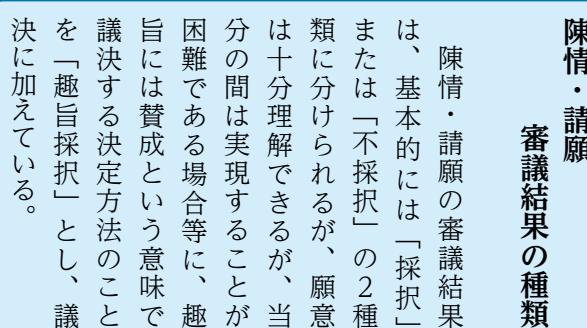
Q 外国人がニックネームなどで印鑑登録しようとした場合はどうなるか。

A あくまで住民票に記載されている内容でしか登録できません。

- ・一般会計補正予算について

Q 合宿誘致の補助金すでに300万円の予算から、さらに増額となっているがなぜか。

A 30年度の実績を新たに含めた場合に、不足する恐れがあるため増額をお願いしました。



○陳情者	福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行
○付託先委員会	経済厚生常任委員会
○審議結果	趣旨採択

陳情第11号

看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情

台灣 観察研修

村議会では、11月21日から24日までの4日間、台湾の交流先である南投県魚池郷を中心にお世話になつた関係機関などへ訪問をしました。

員会にあたる南投県政府教育処を表敬訪問しました。

魚池郷では、中学生の訪問先を視察、また、台中にある草屯鎮では、草屯中学校や県の教育委員会では、現地ならではの熱烈な歓迎と共に、交流事業について意見を交わすことが出来ました。

主な訪問先

魚池郷(中学生交流事業訪問先)
草屯鎮公所、草屯中学校、工藝研修中心、南投県政府教育処
※台湾の地名について
『鎮』は町『郷』は村の集合体を表しています。



日月潭湖畔の記念碑にて



草屯中学校訪問の様子



南投県政府教育処の様子



草屯鎮長（簡 景賢氏）・小椋議長

議会広報調査特別委員会 所管事務調査



議会広報調査特別委員会では、令和元年10月23日に所管事務調査を実施し、宮城県川崎町議会へ訪問しました。

川崎町議会では眞壁範幸議長をはじめ、広聴・広報委員会・眞幡善次委員長と委員会の議員のみなさまに参加いただき、川崎町議会の取り組みについて伺うことができました。

川崎町議会は全国広報コンクールにおいて毎年入賞し、昨年度（平成30年度）には準優勝をするなど、広報制作に非常に力を入れている議会です。

制作には、レイアウトから委員が考案、興味を持つてもらえる広報誌を制作しているとのことでした。また、住民の声を多く載せることにより親しみを持ってもらえるように取り組んでいるとのことです。

私たちも、視察の成果を今後の広報誌に取り入れ、村民目線での制作していきたいと思います。



議場で説明が行われた



眞壁 範幸 川崎町議会議長

『編集後記』

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

この「議会だより」も新体制となり3度目の発行となりました。昨年は視察研修を通して、改めて村民目線で皆様に親しまれるような広報作りの大切さを学んだ所であります。

今後も、委員一同皆様方により親しまれる「議会だより」を目指し、制作していきたいと思います。

委員一同

委員長伊藤敏英	副委員長若林幸子
委員遠藤祐一	委員池田睦宏
委員小椋眞	

編集委員